

# みほとけ

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺990

T E L 048 - 794 - 1759

F A X 048 - 794 - 3388

E-mail jyougenji@hotmail.com

## 常源寺と檀信徒をつなぐ

### 日々是好日

例年より1週間ほど遅く開花した桜の花もあっという間に散り、新緑の香りが心地よい季節となりました。境内の木々も日ごとに緑が鮮やかになってきました。

さて、新年度が始まって1ヵ月が経ちました。新しい学校、新しい仕事、新しい人間関係…、大型連休も終わり、いよいよ本格的に新たな生活がスタートします。新社会人を対象としたある調査によると、新しい生活について、「期待のほうが大きいの」と答えた割合が3割程度であるのに対して、「仕事についていけるのか」「上司や同僚とうまくやっていけるのか」など「不安のほうが大きいの」と答えた割合は6割を超えるとの結果があるそうです。新しい環境に飛び込むとき、人は誰でも期待と不安を抱きます。この期待や不安という感情は、「〇〇であってほしい」「〇〇だったらどうしよう」という私たちの「未来に対する想像力」からくるものです。

日々是好日（にちにちこれこうにち）という言葉聞いたことがあると思います。これは、中国の禅僧の言葉です。「毎日毎日が素晴らしい」という意味で、過去をむやみに悔い、未来に必要な以上の期待を持ち込まず、現在を精一杯生きることの大切さを説いたものです。その一日がいい日になるか、悪い日になるかは、私たちの心がけ次第です。いい一日を過ごしたいと思って和やかな笑顔と態度で過ごせばいい一日になります。逆に、今日は嫌な日だと思って過ごすと後ろ向きの言葉ばかりが口に出てしまい、暗い表情となってつまらない一日になってしまいます。

その日、その時、その都度で何が起きても自分のできるベストを尽くし、いたずらに明日を考えて期待や不安といった感情に翻弄されることなく、一日一日を大切に5月から本格的に始まる新たな生活を穏やかに送りたいものです。



境内に咲く藤の花

#### ■ 暮らしの中の仏教用語

##### 引導（いんどう）

あきらめきれないで迷っている人に最後の言葉を言い渡して覚悟を決めさせ、あきらめさせるという意味で「引導を渡す」という言い方をすることがあります。

御葬儀の際、仏道の要旨を説き示し、故人様を無事に仏道へと導くために法語を与えることを引導といいます。故人様が死後に迷ったり、後戻りをしたりしないで次の世で確実に仏道を歩むことができるように菩提寺の住職から故人様にお渡しするのが引導です。引導には、死者を仏界に導くという意味があり、わたしたちの曹洞宗では、引導の中で「喝」や「咦」と大声を出すことでも知られています。

引導とは、本来、誘引開導の意味で、人々を教え導いて仏の道へ引き入れることをいい、迷っている人を仏道に導くことを指すのです。

#### □■ 熱中症対策について □■

常源寺では、長年の実施により社会慣習として定着していることや、現下の気候等を踏まえ、環境省の方針に基づき、5月1日より、御法要等の山内での行事におきましても「クールビズ」を実施いたします。

気温が高くなる日は、本堂並びに瑞雲閣（御法要控室）でエアコンを使用し、室温の適正化に努めますので、檀信徒の皆様におかれましても、軽装での御参拝をお願いいたします。

また、熱中症対策として、御法要等の際に着用する礼服におきましても、各自の御判断で上着を脱ぎ、ネクタイをはずして御参列いただいて結構です。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

## 常源寺のホームページを開設しました

常源寺を広く皆様に知っていただくため、このたびホームページを開設いたしました。常源寺の歴史をはじめ、御法要のお勤めの仕方やよくあるお問い合わせに対するお答え、お寺からのお知らせ等の情報を掲載してまいります。また、年回忌等の御塔婆の申込用紙もホームページからダウンロードできるようにいたしました。機会がありましたらぜひご覧ください。

URL <https://jigenzan-jyougenji.org>

岩槻 常源寺

検索

### ◇ 仏教なんでもQ&A ◇

Q 墓石や御位牌に書かれている「享年」<sup>きょうねん</sup>って何ですか？

A 墓石や御位牌などに彫刻されている「享年」という言葉も元は仏教用語です。「享」の文字には、授かるという意味があります。享年とは、「天から授かった年齢」をあらわし、天からの命をうけてこの世に存在していた年数、つまり、亡くなられた方の年齢のことを指します。仏教では、実年齢ではなく、数え年で享年をあらわすことが多いです。

数え年とは、生まれた時を1歳と数え、全ての方が1月1日で1歳年をとるという考え方で、誕生日を迎えても年齢は加算されません。例えば、12月31日生まれの赤ちゃんは、翌日の1月1日で2歳となります。実年齢と享年では、最大で2歳の差が生じることとなります。数え年の数え方に関しては、赤ちゃんがお母さんの胎内にいるときを0歳として数えるという説や、実年齢に1歳加えることで、少しでも長命をかなえようとする説など諸説あります。

「享年」と似た言葉に「行年」<sup>きょうねん</sup>がありますが、行年とは、「この世に生まれてから何歳まで生きたか」を意味し、実年齢であらわします。一般的に、享年には「歳」が付かず、行年には「歳」が付くのですが、その理由はこの意味の違いからです。

このように、「享年」「行年」「実年齢」には、その意味や数え方にそれぞれ違いがあります。地域や菩提寺、家系等によってお亡くなりになった年齢をどれであらわすのか異なる場合がありますので、御先祖様の墓石や御位牌がすでにある場合には、書き方を合わせていただくのがよいでしょう。

※享年と行年の考え方や数え方には諸説あります。

常源寺では、御葬儀の際に「享年」で故人年齢をあらわしております。

### 春彼岸会を厳修いたしました

3月20日（水）春分の日、春季彼岸会を厳修いたしました。常源寺檀信徒の皆様の家門繁栄を御祈願した後、皆様の大切な御先祖様、永代供養墓に合祀されている故人様の御供養を行いました。今年の春のお彼岸は風の強い日もありましたが、多数の方にお墓参りをいただき、お彼岸後は墓地に色鮮やかな花々が供えられていました。



### 能登半島地震災害義援金の御礼

本年元日に発生した能登半島地震において被災された方への義援金とするため、本堂に「能登半島地震災害義援金募金箱」を設置しておりました。御法要等で御来山された方々に御協力いただき、4月末までに2760円の義援金をお預かりいたしました。被災された方々に対して御見舞いを申し上げるとともに、一日も早く安寧の日々を取り戻せますよう心より御祈念いたします。皆様からいただいた義援金は曹洞宗宗務庁を通じて被災地へお送りいたします。御協力ありがとうございました。